

【授業の概要】

障がいをもつ児童であっても保育の目的は教育と養護であり、それぞれの子どもが成長・発達していくための保育活動を提供することが必要となる。この講義では特別な配慮を必要とする障がい児への保育について、それぞれの障がいの特徴と個別の配慮について理解する。また、障がい児を含めた保育活動の展開上の留意点・配慮点、子ども同士のかかわり、環境設定(人的、物的)上の工夫について演習を通して体験的に理解する。更に障がい児の保護者や家族に対する支援、他専門職機関、教育機関との連携、他分野(医療・福祉・教育・法律)におけるかかわりについて事例を通して学ぶ。

【授業要旨】

回数	題目	授 業 内 容
1	オリエンテーション 障がい児保育の意義	本科目の意義や目的、授業の進め方について説明する。またこれまで自分自身が出会った障がい児・者とのかかわりについて振り返りながら障がいについて考える。
2	「障がい」とはなにか	ICF(国際生活機能分類)や参考資料などから「障がい」の概念について学ぶ。
3	障がい児保育・支援の歴史	今日に至るまでの障がい児保育の歴史について学ぶ。特に知的障がいをもつ児童への支援は権利擁護と密接にかかわっていることを歴史から学ぶ。
4	障がい児を支援するための価値観	新聞記事をもとに子どもの生まれる権利と保護者の産む権利について考える。また、出生前診断や不妊治療について個人の価値、専門職の価値を対比させ生命の尊厳について理解する。
5	障がい児保育の基本	ノーマライゼーションなどの専門職の価値観を基本としながら、障がい児とその家族にかかわる上での基本的な知識や姿勢について理解する。
6	障がい児保育実践の場と制度	障がい児保育を実践する場(保育所・施設)とそれを支える制度について理解する。
7	統合保育と分離保育について	視聴覚教材をもとに統合保育、分離保育の意義について考える。また、保育所での保育と障がい児施設での保育の長所・短所について理解する。
8	障がいの種類と基本的知識①	障害の種類と発表の方法について説明する。その後、障害の種類別にグループに分かれ調べ学習を進める。また教員から適宜指導を受け、課題の提示を受けたらグループ内で検討する。
9	障がいの種類と基本的知識②	グループ学習を進める。また教員から適宜指導を受け、課題の提示を受けたらグループ内で検討する。
10	障がいの種類と基本的知識③	発表原稿の作成と提出及び役割分担を行う。
11	発表①(知的障がい、自閉症)	グループ毎に発表を行う。発表後、教員が補足説明を行う。また、保育実践の場での課題と支援について考える。
12	発表②(ダウン症、学習障がい)	グループ毎に発表を行う。発表後、教員が補足説明を行う。また、保育実践の場での課題と支援について考える。
13	発表③(肢体不自由、てんかん)	グループ毎に発表を行う。発表後、教員が補足説明を行う。また、保育実践の場での課題と支援について考える。
14	発表④(言語障害、視覚障害、聴覚障害)	グループ毎に発表を行う。発表後、教員が補足説明を行う。また、保育実践の場での課題と支援について考える。
15	障がい児・者福祉の現状と課題 前期のまとめ	今日における日本の障がい児・者に対する福祉の歴史と現状及び課題について理解する。

回数	題 目	授 業 内 容
16	後期オリエンテーション 障がいと発達支援	障がい児の発達を保障するための発達支援の方法について現状と課題、これからについて考える
17	発達支援について①	障がい児への発達支援の基本は早期発見、早期対応（支援）である。健全な子どもの発達段階及び母子健康手帳を参考に障がいを有する児童の早期発見について理解する。
18	発達支援について②	発達支援のシステムや現状、自治体や療育機関の取り組みなどについて理解する。また、担当教員がこれまでかかわってきた発達支援の方法を紹介し、発達支援について理解する。
19	発達支援と保育事例①	保育事例を取りあげ、障害に応じたその場での対応の方法や未然に防ぐ方法などについてグループ討議を行い、検討し発表する。
20	発達支援と保育事例②	保育事例を取りあげ、障害に応じたその場での対応の方法や未然に防ぐ方法などについてグループ討議を行い、検討し発表する。
21	発達支援と保育事例③	保育事例を取りあげ、障害に応じたその場での対応の方法や未然に防ぐ方法などについてグループ討議を行い、検討し発表する。
22	発達支援と保育事例④	保育事例を取りあげ、障害に応じたその場での対応の方法や未然に防ぐ方法などについてグループ討議を行い、検討し発表する。
23	発達支援と保育事例⑤	保育事例を取りあげ、障害に応じたその場での対応の方法や未然に防ぐ方法などについてグループ討議を行い、検討し発表する。
24	発達支援と保育事例⑥	保育事例を取りあげ、障害に応じたその場での対応の方法や未然に防ぐ方法などについてグループ討議を行い、検討し発表する。
25	障がい児保育実践①（園の取り組み）	障がい児を受け入れる保育園の取り組みについて事例をもとに考える。特に職員間の協働や施設設備、教材の工夫、他保護者への対応などについて理解する。
26	障がい児保育実践②（保育課程、保育計画と障がい児への支援）	実際に使用されている保育園の保育計画を参考に障がい児への保育実践上の支援の視点や方法について学ぶ。また個別支援計画の視点と記録のとり方について理解する。
27	保護者・家族への支援	障がいを有する児童の家族がかかえる課題について理解し、保護者や家族に対する支援について考える。特に障害受容の段階について理解し、家族を支援する視点と方法を理解する。
28	障がい児の就学について	保育・幼稚園からの小学校就学までの流れや手続きについて理解する。また就学に際して検討される就学の場について理解し、障がい児とその家族への支援について考える。
29	他専門職、他分野との連携	障がい児を取り巻く環境は保育や福祉に限らず様々な分野において実践されている。それらの分野について理解を深め、地域社会における障がい児への支援について理解する。
30	まとめ インクルージョン（社会的包摂）社会を目指して	インクルージョン、インクルーシブの理念を中心に障がい児の権利について現状と課題を理解する。また、障がい児・者を含めた理想的な保育や社会のあり方について考える。

【評価の方法】

定期試験 80% レポート 20%

【テキスト】

適宜、プリントを配布します。

【参考書】

講義の中で紹介します。

【研究】